

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社オーダム 八幡市工場新築	階数	地上2F
建設地	京都府八幡市内里河原31-32-2	構造	S造
用途地域	第5種高度・第2種特別工業地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年11月15日
敷地面積	3,214 m ²	作成者	(株)ランダム一級建築士事務所
建築面積	1,128 m ²	確認日	2022年11月15日
延床面積	2,166 m ²	確認者	(株)ランダム一級建築士事務所 森正臣

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 93%
③上記+②以外の: 93%
④上記+: 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

項目	内容	その他
高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。		特になし
特になし	階高を高く設定し、将来フレキシブルにプラン変更等の対応が出来るよう計画している。	特になし
LED照明など、高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めている。	断熱材はODP及びGWPが低いものを採用し、環境負荷に配慮した計画としている。	建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される